

(様式1)

令和3年10月〇〇日

(宛先) 川崎市長

中小企業間連携新規事業化モデル創出事業
企画提案参加申請書

<代表申請者>

本社所在地 川崎市川崎区 1-1

名称 株式会社川崎

代表者役職・氏名 代表取締役 川崎 太郎

中小企業間連携新規事業化モデル創出事業について、下記の書類を添えて、モデル事業の企画提案に参加します。

記

- 1 (様式2) 企画提案書(事業計画)
- 2 (様式2別添) 事業費内訳
- 3 (様式3) 提案事業実施者に関する情報 (3社)
- 4 (様式4) 誓約書

企画提案書(事業計画)

代表申請団体の情報	業種 ※日本産業分類の大分類	飲食業
	従業員数(正社員)・資本金	(従業員) 15名 (資本金) 5,000千円
	売上高と営業利益(直近)	(売上) 36,000千円 (営業利益) 24,000千円
	主たる事業内容	定食屋「かわさき」による飲食店経営
担当者連絡先	会社名・所属部署・役職名	株式会社川崎 総務部
	氏名	川崎 次郎
	ふりがな	かわさき じろう
	電話番号	044-333-1234
	電子メールアドレス	kawatara@kawa.co.jp
実施モデル事業名		
連携事業者 ※上記代表申請者以外で2者以上を記載してください。	(事業者1) 幸株式会社 (業種) 情報サービス業	
	(事業者2) 株式会社中原 (業種) 食料品製造業	
	(事業者3) 有限会社高津 (業種) 飲食業	
	(事業者4) (業種)	
	(事業者5) (業種)	

※連携事業者が上記欄で足りない場合には行を追加してください。

1. 現状と事業者間の共通の課題

多くの飲食業においては、営業日の来客を予測して仕入れや仕込みを前日から当日の営業開始時間前に行っている。実際の来客については、その日の天候や周辺のイベントなど様々な予測不要な要因にも影響されるところである。さらに新型コロナウイルス感染症の拡大を通じて、ますます来客の予測が難しくなり、事前の仕入れや従業員の配置など飲食業を取り巻く環境は大変厳しい状況下にある。

このような状況の中、仕入れを行った食材等の一部は営業日の状況により、保存が利くものと廃棄せざるを得ないものにわけられ、保存が利くものは店舗内で独自の加工を施すものの、一部の食材は廃棄となりフードロスを生み出す状況となっている。複数の店舗を有する飲食店については、店舗間でこのような課題に対処できる経営体制があるものの、一店舗において営業を行う個店にとっては、事業者間のネットワークの不足や限られた働き手における日々の経営に追われることから新たな取組を行う経営資源が不足している。また、取り扱う食材や経営する店舗の規模などにもより、上記の課題を解決するには、異なる営業状況の飲食店の連携の難しさ、流通・配送や加工の問題、フードロスが発生するタイミング、ビジネスとして協業した場合の運用面と売り上げの管理など高いハードルが想定される

余った食材を有効活用したい、新たなビジネスとして活かしたいという思いは多くの飲食店において共通の課題として抱えているところであり、複数の飲食店が異業種との連携により新たなビジネスを創出することは、既存の事業を下支えする販路開拓につながる。また、このようなフードロスに対応する新たなビジネス創出はSDGsの観点からも社会的に求められており、複数の事業者が連携することで情報の発信力強化にもつながり、個別飲食店の持続可能な経営に資する取組として期待できる。

食品廃棄物等と食材ロスの発生量（農林水産省資料より作成）

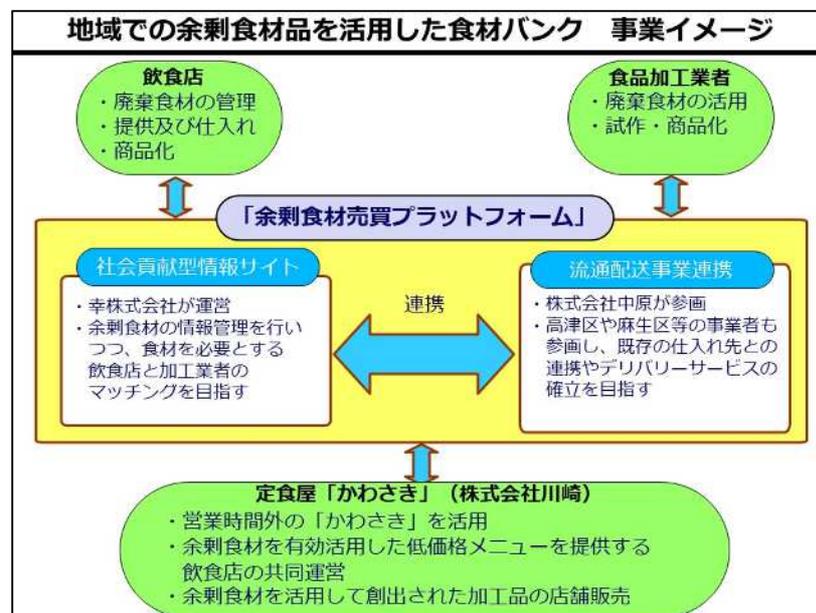


【食品ロスの現状（図1）】

2. 課題解決に向けた取り組みの内容・手法

2.1 取組の内容

- 連携する飲食店、食品加工業の事業者において余った食材情報を共有するプラットフォームを構築し、リアルタイムの情報の共有化を図る。
- プラットフォーム上で余っている食材情報とその食材を必要とする飲食店、食品加工業のマッチングを行う仕組みを構築する。
- マッチングした食材の流通、配送の課題を既存の仕入れ先との連携やデリバリーサービスの仕組みや株式会社中原の自社商品配送ルートを活用して確立する。
- 営業時間外の定食屋「かわさき」を活用して、飲食店店舗の共同運営を行い、余った食材を有効活用した低価格のメニューを提供する。また、当該食材を活用して創出された加工品を店舗で販売する。
- 事業実施後の協業先の拡充についてのルールづくり、継続した事業運営のオペレーションの仕組みを構築する。
- 当該事業者間の連携の取組をSDGsの視点や地域の飲食店・食品加工業等の連携した新たな取組として共同で情報発信を行っていく。



【事業イメージ（図2）】

2.2 実施スケジュール

- 1 1月上旬 連携事業者間の提供・共有する情報の分析、カテゴリの整理
- 中旬 幸株式会社によるプラットフォームのシステム構築開始
- 下旬 株式会社中原を中心とした配送・流通の仕組み活用に向けた試験運用
- 1 2月上旬 仕入配送先の企業やデリバリー関連会社との配送・流通の活用協議
- 下旬 定食屋「かわさき」の営業時間外の共同運営の試験実施に向けた準備
- 1 月下旬 定食屋「かわさき」の営業時間外の共同運営支援開始
- 株式会社中原を中心とした食材を有効活用した加工品の試作完成
- 2 月中旬 プラットフォームシステムの試験運用開始、配送・流通の仕組みの連携
- 食材を有効活用したメニュー整理、加工品の販売準備
- 3 月上旬 プラットフォームの運用開始、店舗共同運営開始、メディア発信
- 中旬 事業運営のオペレーションのマニュアル化、新規参入企業の募集

3. 期待される効果と事業のその後の展開

3.1 期待される実施後の効果

- ・地域で排出されるフードロスの低減
- ・これまでにアプローチの難しかった顧客層の開拓
- ・企業間が連携したフードロス対策から生まれる新たな加工品の創出
- ・店舗の営業時間外、営業日外などを有効活用した新たな飲食店の開店
- ・連携企業の新たな販路開拓の仕組みの確立

3.2 事業実施後の新たな展開や将来的な拡張性

- ・食材ロスに悩む地域の飲食店の新ビジネス参入障壁の低減
- ・新たな流通・配送ルートของフードロス対策以外での活用の可能性
- ・プラットフォームを活用した連携事業者間での仕入れや来客予測など一企業では収集が難しいデータの情報共有と分析
- ・参加企業の拡充による規模のメリットを活かした情報発信力の向上

4. 事業実施の体制と事業者間の役割分担、マネジメント管理体制

- (株式会社川崎) 事業全体の総括管理・事業費の管理
店舗の場所提供・メニュー開発
- (幸株式会社) 情報共有化に向けた企業間のデータ整理・分類化
プラットフォームシステム構築・SNS発信
- (株式会社中原) 加工品の共同開発プロジェクト総括
流通・配送ルートの確立・実行
- (有限会社高津) 定食屋「かわさき」時間外運営の協力・メニュー開発
新規参加飲食店の開拓・プラットフォーム活用モニター

※申請事業が採択された場合には、伴走支援を行うコーディネータの派遣を予定しています。当該申請事業の申請時やこれまでに事業に関わった関係支援機関のコーディネータや専門家がいる場合には、記載をお願いします。

(所属団体・企業名)	(役職)	(氏名)
横浜経営コンサルティング	代表取締役	横浜 太郎

5. 外注先(委託先)の情報

- (株式会社多摩) 事業内容：サービス業・飲食店向けデリバリーサービスを展開
委託内容：自社デリバリーサービスの仕組みを活用した事業協力
- (株式会社宮前) 事業内容：情報通信業・飲食店向けECサイト構築・データ分析
委託内容：プラットフォームシステム構築【幸株式会社と協業】

事業費の内訳

本モデル事業を実施するにあたって、必要となる経費全ての内訳を記載してください。
ただし、以下の点に留意してください。

- 支給額の上限は500万円(税込)であるため、モデル事業費の総額が税込500万円を超える場合、不足する費用は自己負担となります。
- 事業費全額を支給できない場合があります。

※ 必要に応じて行を足してください。

	項目	内容	金額 (単位：円)
1	会計システム (株式会社川崎)	キャッシュレス決済に対応するソフトウェア	500,000
2	広報用チラシの作成 (株式会社川崎)	食材バンク広報用チラシ・ポスター	500,000
3	食品加工機 (株式会社中原)	食材を試作・加工する装置	500,000
4	試作用食材費 (株式会社中原)	食品加工機において試作する食材	100,000
5	オンライン会議システム(全社)	無料のソフトウェアを使用	0
6	役務費 (株式会社川崎)	プラットフォーム構築・設計	2,000,000
7	役務費 (株式会社川崎)	食材配送システムの構築	150,000
8	役務費(幸株式会社)	ホームページデザイン構築・運営	1,000,000
9	役務費 (株式会社中原)	食品試作・加工	200,000
10			
11			
12			
13			
14			
15			
		モデル事業費	4,950,000
		消費税(10%)	49,500
		合計	4,999,500

(様式3)

提案事業実施者①(代表申請者)に関する情報

- ※ 本提案事業を実施する事業者の情報を、事業者ごとに記載してください。
- ※ その際、2つ以上の業種からなる3者分の情報が必要となります。
- ※ 4者以上の実施事業者がいる場合には、適宜様式をコピーして作成ください(必須ではありません)。

提案事業者名称①：株式会社川崎

所在地住所：〒●●●—〇〇〇〇

川崎市川崎区1-1

	項目	内容
1	主たる事業の内容	定食屋「かわさき」による飲食店経営
2	業種 ※日本産業分類の大分類	飲食業
3	資本金	5,000 千円
4	従業員数(正社員) ※パート、派遣・契約社員を含まない	15 名
5	売上高 ※直近の決算	36,000 千円
6	営業利益 ※直近の決算	24,000 千円
7	提案事業者の新規事業化及び生産性向上・働き方改革に関して認識している課題	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、緊急事態宣言が発令されるなど、飲食店での営業が制限され、発注した食材が有効に活用されていない事態が多発している。そのため、この食材を有効に活用できる仕組みが必要であると考えている。
8	提案事業の実施における主な役割	代表申請者であり、本プロジェクトの取りまとめを担当する。

提案事業実施者②に関する情報

提案事業者名称②：幸株式会社

所在地住所：〒●●●—〇〇〇〇

川崎市幸区 1-1

	項目	内容
1	主たる事業の内容	ECサイトの構築等インターネット関連サービスや、各種ソフトウェアの構築・運用に関する業務
2	業種 ※日本産業分類の大分類	情報サービス業
3	資本金	50,000 千円
4	従業員数（正社員） ※パート、派遣・契約社員を含まない	200 名
5	売上高 ※直近の決算	500,000 千円
6	営業利益 ※直近の決算	300,000 千円
7	代表申請者との調整状況 (a~d のあてはまるものに (○))	(○) a. 本モデル事業の実施先として、計画内容を含めて合意がとれている () b. 一部、計画内容について合意ができていない () c. 計画時点では合意をとっておらず、事業の受託が決定次第、合意をとる () d. その他（以下に状況を記載）
8	提案事業の実施における主な役割	食材バンクに関する情報プラットフォームの構築及びその運用

提案事業実施者③に関する情報

提案事業者名称③：株式会社中原

所在地住所：〒●●●—〇〇〇〇

横浜市中区 1-1

	項目	内容
1	主たる事業の内容	国内および海外向け加工食品の製造・販売
2	業種 ※日本産業分類の大分類	食品加工業
3	資本金	50,000,000 千円
4	従業員数（正社員） ※パート、派遣・契約社員を含まない	30,000 名
5	売上高 ※直近の決算	10,000,000 千円
6	営業利益 ※直近の決算	4,000,000 千円
7	代表申請者との調整状況 (a~d のあてはまるものに (○))	(○) a. 本モデル事業の実施先として、計画内容を含めて合意がとれている () b. 一部、計画内容について合意ができていない () c. 計画時点では合意をとっておらず、事業の受託が決定次第、合意をとる () d. その他（以下に状況を記載）
8	提案事業の実施における主な役割	食材バンクの運用により、余剰食材を活用した加工食品を試作し、販売可能性を探るとともに、量産化に向けた開発を行う。

誓 約 書

令和3年10月 日

(宛先) 川 崎 市 長

本社所在地 川崎市川崎区 1-1
名 称 株式会社川崎
代表者役職・氏名 代表取締役 川崎 太郎 印

申請者及び申請者の役員は、暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等2条第6号に規定する暴力団員）に該当せず、また、将来においても該当しないことを誓約します。

代表者印を押印

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、交付決定の取消等その他の不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、貴職において必要と判断した場合に、下記「役員等名簿」により提出する当方の個人情報等を警察に提供することについて同意します。

〔役員等名簿〕

役職	フリガナ 氏名	性別	住所	生年月日
代表取締役	カワサキ タロウ 川崎 太郎	男	川崎市川崎区〇〇	昭和35年5月1日
取締役	サイワイ タロウ 幸 太郎	男	川崎市幸区〇〇	昭和40年7月1日
取締役	ナカハラ シロウ 中原 二郎	男	川崎市中原区〇〇	昭和45年10月1日

氏名にはフリガナを付記

(注1) 氏名には、フリガナを付して下さい。

(注2) 当名簿に記載する役員とは、業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者(いわゆる、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、当該団体に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者)を含みます。